



祐介の目

No.94

大田ゆうすけ
(福山市議会議員)

毎月1日号に掲載

15万円という手厚い補助をしている。私も5年前に将来を見越して補助制度の創設を訴えたが、残念ながら当時の福山市はまったくやる気が無かった。先日、東京都が踏み違い防止装置取り付け費用の9割を補助する方針を明らかにしたが、これに全国の市町が追従することだろう。

アクセルとブレーキ

アクセルとブレーキの踏み違い事故が急増し社会問題となっている。人間はパニック状態になると反射的に足が伸展する特性があり、現行のペダル配置では間違えてアクセルに乗せた足を引き上げ、ブレーキに乗せ換える動作ができなくなるのだろう。近年、国産車の99%がAT車であり、燃費や価格面でもMT車に対して遜色ない。これほどAT車が普及する前にMT車のクラッチペダルの位置にブレーキペダルを付けて右足アクセル、左足ブレーキという配置にすれば良かったと思うが後の祭りである。

踏み違い対策としてさまざま工夫がある。一つのペダルでアクセルとブレーキを兼用するワンペダル、急にアクセルを踏み締めると逆にエンジンが切れる装置等があり、私の母の里である岡山県美咲町ではワンペダルの取り付けに上限

踏み違い暴走事故により他人を傷つける可能性が心配なら、MT車に乗り換えてはどうだろう。MT車の割合が8割と高率なヨーロッパでは、当然踏み違い事故も無い。技術的にMT車に乗れなくなれば免許証を返納するタイミングかもしれない。車が無いと生活ができない地域の方は、返納せずとも125ccクラスのスクーター等に乗り換えてはどうか。もしくは電動アシスト自転車だ。これだと坂道はスイスイ上るし、普通の自転車より行動半径が倍に広がる。

最良の手段は「歩く」ことだろう。元気なうちに車を手放して歩いている人は本当に元気だ。車の普及と共に生活習慣病の患者が増えたというデータもあるし、車を手放すことにより健康と長寿が手に入るなら素晴らしい。何事も便利になり過ぎた社会では思わぬ副作用が出るものだ。